

科目名	経営組織論（ミクロ）		
英語科目	ナンバリング	BBman201 Bsto203	
開講期	春学期	開講学部等	経営学部
教員名	岡部 曜子	配当年次	2年次
		単位数	2単位

授業概要／Course outline

本講義は、組織における人間の行動についての理解を深めることを目的としている。組織論の枠組みを説明した上で、「人はなぜ働くのか」（モチベーション）、「どのようにキャリアを歩めばいいのか」（キャリア・デザイン）といった個人レベルの課題から、「リーダーはいかにあるべきか」（リーダーシップ）、「チームはどのように力を発揮できるか」（チーム）といった集団レベルの課題へと議論を進める。さらに組織文化や組織変革といった組織レベルの主要テーマについて紹介する。学期後半には、危機管理や人的資源管理といったトピックを取り上げながら、組織変革について考えてもらう。各回の講義の中では、実際の企業などの組織や個人を事例に取り上げることができるだけ詳しく丁寧に説明してゆく。本講義で得た知識は、将来組織と関わりながら仕事をしていく中でさまざまな課題に直面した時に、その対処の仕方についてヒントを与えてくれるものになり得るし、また、自らのキャリアの構築にも役立つであろう。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 ミクロ組織論とは

組織や組織論についての基本的な理解を深め、組織行動論（ミクロ組織論）の研究の流れを歴史的に概観する。また、組織とは何かについて検討する糸口となる重要な基礎概念として、ビューロクラシー、権限と権威、組織均衡、組織目標、ライフサイクル、有効性、ポストモダンの組織論について学ぶ。

第2回 組織論の枠組み：組織のダイナミクス

システム思考、環境適合、限定合理性、組織化、組織慣性、パワー・ポリティックス、制度といった組織の動的な側面を知る。

第3回 個人レベル：モチベーション

マズローの欲求理論、モチベーションの内容理論・過程理論、コミットメント、目標による管理などについて説明する。

第4回 個人レベル：キャリア

社会化、キャリア発達、企業戦士・会社人間、ガラスの天井、プロフェッション、ピーターの無能の法則について説明し、過去と現在のキャリア論を比較する。

第5回 個人レベル：ストレス

組織ストレスやバーンアウトなどの組織で働く人のストレスの問題について現状を説明し、コーピング（対処行動）や組織的介入などの対応策について検討してみる。

第6回 集団レベル：グループ・ダイナミクス

集団凝集性、斉一性、チーム・ビルディングなどのチームワークのダイナミズムについて事例を通じて学ぶ。

第7回 集団レベル：リーダーシップ

特性説から変革型リーダーに至るまでのさまざまなリーダー像を概観し、役割分化、状況適合モデル、代替モデル、ライフサイクル・モデル、カリスマ、アントレプレナー等の考え方を通じてリーダーを多角的に捉えることを促す。

第8回 集団レベル：意思決定

意思決定モデル、個人・集団の意思決定、集団浅慮、意思決定における情報共有、会議法などについて知る。

第9回 組織レベル：組織デザイン

ラインとスタッフ、事業部制、ビューロクラシーの問題点、ミンツバーグの組織論、ルース・カップリング、柔構造化、ネットワーク組織などについて学ぶ。

第10回 組織レベル：組織文化

ガバナンス、学習する組織、日本の経営、エクセレント・カンパニー、企業倫理、IT化と組織文化の変革などについて、企業の事例を挙げながら学ぶ。

第11回 組織レベル：組織戦略

チャンドラーの命題、競争優位、SWOT分析、ニッチ、PPM、コア・コンピタンス、戦略ポジション、価値連鎖、多角化戦略など、組織戦略の重要な概念について理解する。

第12回 組織変革：危機管理

リスク・マネジメント、組織スラック、安全管理とヒューマンファクター、コンプライアンスなどの危機管理の考え方を身につける。

第13回 組織変革：人的資源管理

人事評価、研修、経営参加、エンパワーメント、メンタリングとコーチングに加え、高齢者雇用、女性の活用、ジョブ・デザインなどについて理解を深める。

第14回 組織変革：組織の理論と実際

組織変革とは何かを考え、アカウンタビリティ、顧客満足、組織開発、TQM、ダイバーシティ・マネジメント、自己組織化といった現在の企業活動において課題となっているトピックについて検討する。

第15回 総括：さまざまな組織観、期末試験

異なる組織観において「人」はどのように捉えられているかという視点から、授業で紹介した組織論の考え方を整理しなおし、組織についてのより深い考察に繋げる。

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

あらかじめパワーポイントの資料に目を通してから各回の授業に臨む。また、各回の講義のテーマに関する文献を読み、キーワードについて調べておく。講義を聴きながら、メモを取り、疑問点は積極的に質問する。事前・事後学習は、計4時間必要である。

第1回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第2回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第3回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第4回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第5回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第6回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第7回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第8回

【事前学習】 パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

【事後学習】 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第9回

[事前学習] パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

[事後学習] 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第10回

[事前学習] パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

[事後学習] 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第11回

[事前学習] パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

[事後学習] 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第12回

[事前学習] パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

[事後学習] 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第13回

[事前学習] パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

[事後学習] 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第14回

[事前学習] パワーポイントの資料を読み、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。

[事後学習] 資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

第15回

[事前学習] パワーポイントの資料を読み返し、キーワードを調べる。組織論についての文献を読んでおく。また、すべてのパワーポイントの資料を読み返し、不明な箇所を調べたり質問したりして理解不足を充足し、期末試験の準備をする。

[事後学習] 全ての講義資料を読み返し、理解不足の箇所や関心を持った内容について調べる。

授業の到達目標/Expected outcome

ミクロ組織論についての理論を理解し、自らが組織人として行動する際の指針を得ることを目標としている。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- | | |
|---------|-----------------|
| ・ 思考力 | 専門知識・専門技能 |
| ・ 幅広い教養 | 【経営学部 マネジメント学科】 |
| ・ 倫理性 | ・ 戦略と組織の基本知識 |
| | ・ 基礎的なマネジメント力 |

履修上の注意/Special notes, cautions

講義資料はあらかじめmoodleから各自でダウンロードする。十分な予習と復習が求められる。

評価方法/Evaluation

期末テストで100%評価する。試験は、15回目の授業の際に記述式の試験を行う。

教材/Text and materials

パワーポイントの資料。

参考資料：桑田幸太郎、田尾雅夫『組織論 補訂版』（有斐閣アルマ）

質問や相談の方法/Instructor contact

授業中に質問を受けるが、以下のメールアドレスに連絡することも可。メールには名前と学籍番号と件名を記す必要がある。これらが記されていない場合は返答できない。

okabeyo@cc.kyoto-su.ac.jp

オフィスアワーは以下の通り。

春学期 火曜 昼休み 水曜 1限目

秋学期 火曜 昼休み 木曜 1限目